

2020年12月23日

株式会社アイキャスト 第30回番組審議委員会 議事録

■日時： 2020年12月7日（月）16:00～17:00

■場所： オンライン会議で実施

■出席者： 番組審議委員

板東	浩二	様	(委員長)
夏目	幸明	様	(副委員長)
池田	昌史	様	
石田	紗英子	様	
今別府	亮	様	
植田	実	様	
次原	悦子	様	
トム	ペリー	様	
中尾	信一	様	

アイキャスト

永田	勝美	(代表取締役社長)
沼尻	孝	(取締役副社長)
小林	智	(取締役)
宮里	系一郎	(取締役)
赤穂谷	匡広	(取締役経営企画本部長)
上島	史朗	(サービス本部長)
福岡	貴博	(経営企画本部 事業戦略部 課長)

■議事内容

1. 番組審議

(1) 『乃木坂 46 山崎怜奈とおはつちゃん』について

- ①作り込みすぎず、出演者が身近に感じられるような演出に感銘を受けた。
出演者のことは知らなかったがファンになった。
- ②出演者のパーソナルな魅力が伝わっていいなと思った。
「おはつ」の過程で高い目標に挑戦する姿や真剣な眼差しが見られたなら、より心をつかまれるのではないか。
- ③アイドルにスポットをあてながら、そこにうんちくを入れたりするといいいのでは。
ちょっとためにもなる内容で、ターゲットが若い方といいながら、50, 60代も楽しめる番組であった。

(2) 『NextBaseball プロ野球新常識ランキング』について

- ①スポーツ中継の解説者の多くは感覚で解説している。この番組のようにデータ分析がしっかりとできる、スポーツデータアナリストといえる役割の人が登場したら様々な番組で需要が高まると感じた。
- ②データの取得や解説方法が確立されていて、今までのスポーツ番組にはなかった視点を得られている。野球だけではなくスポーツ、スポーツ以外の様々なジャンルでもデータを活用すれば、新たな楽しみ方が広がると思う。
- ③昭和、平成、過去のいろいろなデータまで掘り下げることができたらもっとおもしろくなる。ぜひシリーズ化してほしい。
- ④YOUTUBE のコンテンツは万人受けするものより、趣味などの狭い範囲のものが見られる傾向になっている。データを深掘りし専門的にいっているというのが、時代に合っていると思う

以 上